

新型コロナウイルス

「第4波」に備え、検査・医療・補償を

党市議団は、国会議員団や県議団とも共同し、各省庁や千葉県、そして市へも要請を重ね、繁華街でのモニタリング、変異株検査等がスタートしています。さらに拡充するため、全力を尽くします。

保健所増設を提案

「人口20万人になったのに…」、「野田、柏、松戸にはあるのに…」と保健所の市内設置を求める市民の声に基づき、党市議団は提案しました。

ワクチン接種いつから

千葉県から流山市にワクチンが届けられる予定は4月12日以降。大幅なずれ込みです。「第4波」が迫る中、優先接種者である医療従事者、重症化リスクが高い高齢者等にすぐに届かないとすれば、国・県・市の責任であり、積極的な取り組み姿勢が問われています。



4月6日、13回目となる申し入れを行う党市議団
(右から、高橋あきら、植田和子、小田桐たかし、いぬい紳一郎各市議)

南流山中学校の移転

より良い教育環境の整備に全力を

私立中学と公立中学が隣接？

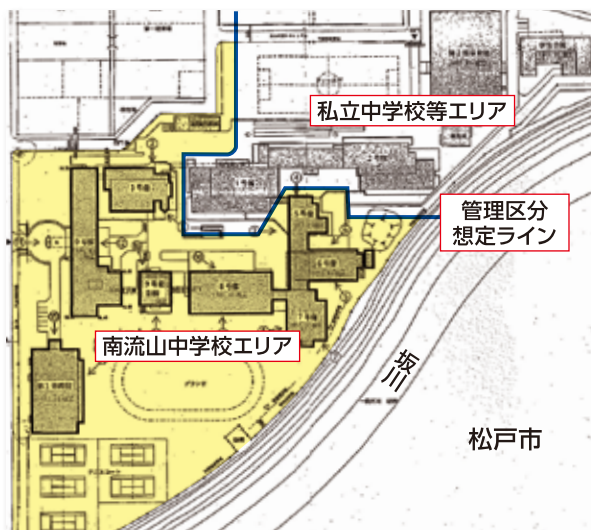
教育効果・影響は？

公立中学の隣接地（市有地）には、私立中学が…。しかし、少人数学級で、なおかつ資金力を活かした学力やスポーツ、最寄駅からのバス通学など、公立中学との「格差」と「競争」が懸念されます。

不透明な土地利用に疑問

私立中学といっても、市有地は売買交渉もせず「貸出」。南流山中学校の使用場所の決定前に、特定事業者との協議入りを市長が表明するなど不透明さや疑問は解消されていません。

児童数の大幅増により、移転となる南流山中学校。党市議団は、6年後には42学級を超える超過大規模校となる傾向を指摘し、授業時間を確保するための屋根付きプールの設置や増築校舎用地の確保、自転車通学の距離を学校から1.5*とするための駐輪場整備を提起しました。



市議会 ねほりはほり

ワクチン接種決議 否決

「安全性及び有効性、副反応と予防効果などの情報の公表」、「副反応などの相談窓口の設置や早期受診の確保」などを求める附帯決議案（日本共産党提案）は否決に。市民の複雑な思いを敏感にキャッチし、施策に反映できるかどうか、議会・議員の姿勢が問われています。

「再審法」改正求める陳情 全会一致で採択

市内でも、過去発生した『冤罪』。重大な人権侵害にとどまらず、全ての情報開示にも、裁判のやり直しにも多くの支障があり、ルールもない日本の司法制度は世界的に異質です。市議会に提出された陳情をめぐり、冤罪はあってはならないことで一致。陳情が採択され、政府及び国会への意見書も全会一致で可決されました。

身近な要求実現



横断歩道・右折レーンの表示
塗りなおし（国道6号）
高橋あきら



念願の歩道の路面
全面改修
（江戸川台駅東口）
植田和子



通学路の安全対策
（おおぐろの森小学校）
小田桐たかし



和田堀に新しい樋管
三輪野山治水対策すすむ
いぬい紳一郎